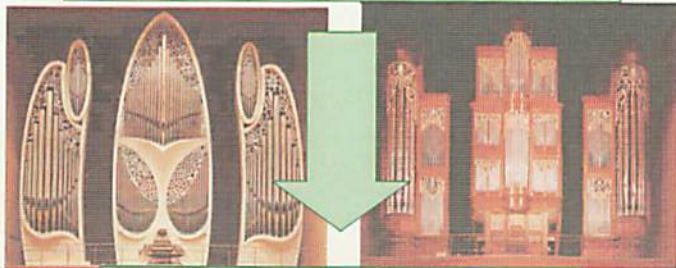


パイプオルガンの安定的な運用と今後の活用について

東京芸術劇場のパイプオルガンの特色

- ☆ 時代様式の異なる三台のオルガンが一体化
- ☆ 各時代の調律法を採用し、オリジナルな音色を再現
- ☆ オーケストラとの共演も可能
- ☆ ルネサンスから現代まで幅広い楽曲の演奏が可能



国内はもとより、世界的にも稀少なオルガン

より積極的な活用を

「東京芸術劇場ならではの」
の
オルガン事業を企画・立案

他ホールと連携したオルガン
フェスティバルの開催や
都内の音楽フェスティバルとの
連携企画の実施



アジア各国との交流による
新たなイベントの実施



子ども・社会人を対象と
した体験型講座



活用状況

事業実績

- ・ 年間約 50 回の本番公演で使用
- ・ ランチタイムコンサートは、平均入場者数 1000 人を 10 年間にわたって維持

東京芸術劇場パイプオルガン コンサート入場者数



オルガン回転盤 これまでの累計回転数 13,375回
(平成3年5月～平成21年10月)

オープン当初のトラブルから
「故障が多い楽器」という
誤ったイメージ

現在、安定的に使用

過去の回転盤の不調
平成4年2月(公演前)
平成13年5月(公演前日)

★ 回転式であることに問題はない

課題

これからも安定的に運用するための方向性

回転盤の制御装置等の経年劣化と
パイプ清掃等の長期的メンテナンスの必要性

経年劣化が見られる制御装置等の更新と
全パイプの清掃

オルガン周辺の温湿度変化の影響

日常的管理体制の確立
オルガン周辺の温湿度と状況を観察し、
対応策を検討・実施

過密なメカニックにより保守等が困難

オルガン内部装置の改修